

第2期 大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2～6年度施策に係る評価

＜基本目標1：おおらかでたくましいひとづくり～まちを未来へとつなぐ～＞

基本的な方向性：次代を担う人材育成と社会的包摂の実現

先人のおおらかな先進の志に学びながら、たくましくまちを未来へつなげるために、さまざまなまちの主役（ひと）づくりを目指します。

（事業費はR2～6の実績額：千円）

総合戦略の施策とその方向	令和2～6年度実施内容に対する評価	事業費	担当課
施策(1)：地域を担うひとの支援と人材確保の推進 方向：住民参加・住民自治に必要な、情報公開と啓発を行いながら、地域・地区の活動や地域のさまざまな自治を支えるひとづくりとしきみづくりを進める。	※自治組織活動活性化事業 【令和2～6年度】 協働のまちづくり事業交付金をとおして、自治会組織の円滑な運営や継続的な活動を支援した。令和2年度のみ、協働のまちづくり交付金に新型コロナウイルス感染症対策交付金を追加し、自治会の感染症対策用品などに活用していただいた。コロナ禍の影響で各自治会でも多くの事業が中止となり、地域コミュニティの形成が希薄化した。 令和6年度から敬老事業補助金を協働のまちづくり事業交付金に移行し、自治会の負担軽減及び地区活動の支援を図った。	R2年度 6,162 R3年度 6,170 R4年度 6,234 R5年度 6,234 R6年度 17,057	総務課
	※集会所の改修及び整備事業 【令和2～6年度】 地域活動に加え防災活動の拠点として集会所の位置づけが強まった。老朽化対応として、集会所の改修・修繕を計画的に行った。、建替えを必要とする集会所については、老朽度の比較、集約化等を踏まえながら、計画的な整備に向け検討を進めている。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により集会所の利用制限が行われ、地域活動に支障が出たものの、コロナ禍以降は、地区の行事や各種団体などの活動が戻ったことにより、使用件数、使用人数ともに増加傾向である。	R2年度 1,910 R3年度 1,881 R4年度 2,842 R5年度 3,828 R6年度 1,070	政策企画課
施策(2)：桜保育所、体育館の建て替えなど、子育て・教育施設の充実	※桜保育所整備事業 【令和2～3年度】 令和3年3月に完成し、公立保育所としての役割を踏まえ、障がい児保育や延長保育等、様々な保育ニーズに対応できる体制づくりを進めた。	R2年度 591,942 R3年度 16,979	子ども家庭課 児童センター 上谷児童館

方向：町立保育所の建て替えを進め、民間保育所等との役割分担を図りながら、障がい児保育や延長保育等、様々な保育需要に対応できる体制を維持する。 保育士等の職務能力の向上や子育て支援サークルの育成など、地域で子育て支援を担うひとづくりを推進する。 老朽化した大河原中学校屋内運動場を建て替え、災害時にも活用する。	※民間保育所建設支援事業 【令和２年度】 令和２年度に民間保育所開設（２カ所）に補助金を交付。保育所待機児童解消に効果を収めた。	R 2 年度	29, 356	
	※地域組織活動への補助事業 【令和２～６年度】 地域の子どもや保護者等を対象とした健全育成活動を展開できるよう母親クラブに対し補助を行い育成に努めた。	R 2 年度 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度 R 6 年度	302 302 302 302 302	
	※大河原中学校屋内運動場増改築事業 【令和２～５年度】 令和４年３月老朽化した大河原中学校屋内運動場の建替えを実施した。災害時に活用できる防災備蓄倉庫や太陽光パネル、蓄電池が整備され、災害時の避難所として活用も図られる。周辺の外構工事により駐車場や歩行者用通路等を整備し、またテニスコート整備、小中学校間の歩行者用通路等を整備し、学校施設・環境の充実を進めた。	R 2 年度 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度	13, 123 874, 110 92, 544 68, 046	教育総務課
施策(3)：高齢者や障がい者の社会参加機会の拡大とサポーター等の育成・支援 方向：高齢者福祉施設及び障がい者施設の拡充と生活・社会参加・就労等の支援を強化する。 ボランティア等生活支援の担い手の養成・発掘とネットワーク化を図り、生活支援・介護予防サービスの充実に結び付ける。	※老人クラブ育成事業 【令和２～６年度】 高齢者が地域活動に取り組む機会を作るため、単位老人クラブと町老人クラブ連合会の活動に対する補助を行った。クラブ数の減少が懸念事項となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、老人クラブ活動に支障が出た。	R 2 年度 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度 R 6 年度	1, 564 1, 506 1, 449 1, 218 1, 103	福祉課
	※介護教室開催事業 【令和２～６年度】 家庭で介護している家族や地域住民を対象に、在宅介護に活かせる介護知識について年１回から３回の介護教室を開催した。	R 2 年度 R 3 年度 R 4 年度 R 5 年度 R 6 年度	10 25 24 42 86	
	※自立支援給付事業 【令和２～６年度】 支援が必要な障がい者、障がい児、難病等のある方を対象に、ホームヘルプや施設への通	R 2 年度 R 3 年度 R 4 年度	353, 145 383, 527 400, 306	

	所・入所及び就労継続支援等の障がい福祉サービスを提供した。 また、補聴器や車いす等の補装具を支給した。 ※社会福祉協議会運営補助事業 【令和2～6年度】 大河原町社会福祉協議会運営の安定化を図り、地域福祉社会における福祉の向上に寄与するため、人件費の補助を行った。	R5年度 417,824 R6年度 462,556 R2年度 29,180 R3年度 31,061 R4年度 31,782 R5年度 32,124 R6年度 35,817	
施策(4)：起業・創業支援と まちづくり人材の発掘と 活用 方向：農業の担い手育成とともに、新規就農者の参入支援を推進する。 商工会や金融機関等と協力し、既存商店等の後継者の育成や組織体制の強化に取り組みながら、新規参入、起業・第二創業に対する支援を強化する。	※担い手育成事業 ※人・農地プラン推進事業 【令和2～6年度】 機械の導入や設備に対する国、県の補助事業や認定新規就農者の新規就農者経営開始資金を活用した経営体の支援を行った。また、認定新規就農者を志向する就農希望者に情報提供や就農計画作成指導などについて支援した。 国の農地利用効率化等支援事業補助金や県の園芸特産重点強化整備事業補助金等を活用しながら認定農業者の経営支援を行うとともに、認定新規就農者への情報提供、国の新規就農者経営開始資金、新規就農者経営発展支援事業補助金等を活用し支援した。 令和6年度に、将来の農地利用のあり方を明確にするため、農地1筆ごとに10年後の農地利用者を定めた目標地図を含めた、農地利用に係る地域計画を策定した。	R2年度 0 R3年度 0 R4年度 0 R5年度 6,304 R6年度 8,422	農政課
	※起業・創業支援事業（にぎわいプラザ事業） 【令和2～6年度】 柴田町・村田町・大河原町の商工会が共催する「特定創業セミナー」の実施を支援している。 内容は創業予定のかた、または創業後5年未満のかたを対象とし、経営、財務、人材育成、販路開拓等の経営知識に関するセミナーとなっている。（全5回） ・セミナー受講者数 R2（9人）、R3（10人）、R4（21名）、R5（21人）、R6（21人）	R2年度 100 R3年度 220 R4年度 264 R5年度 220 R6年度 220	商工観光課
	※住民活動支援事業 【令和2～6年度】 住民活動団体の自主的な活動を支援し、住民参加による元気なまちづくりの推進を図るため、「元気なまちづくり活動支援補助金」を交付した。1団体上限額 100,000円。	R2年度 169 R3年度 100 R4年度 100 R5年度 100	政策企画課

	・R2（2団体 168,649 円）、R3（1団体 100,000 円）、R4（1団体 100,000 円）、 R5（1団体 100,000 円）、R6（1団体 95,617 円）	R6年度	100	
施策(5)：「志教育」の推進、 県内上位の学力維持・向 上 方向：ICT教育や外国語教育な ど、情報化・国際化への対応と ともに、図書室の充実等により 読書活動も推進し国語の能力 も高い人材育成を図る。 児童生徒数の動向を見据え、 計画的な学校等の改修や修 繕、建て替えを行う。	※学力・体力向上推進事業 【令和2～6年度】 GIGAスクール構想に取組み、全児童・生徒1人1台にタブレット整備をはじめICT 教育を推進。教師に対し学力向上研修会を実施、仙台大学と連携し児童の体力向上に努めた。	R2年度	1,200	教育総務課
		R3年度	2,369	
		R4年度	1,610	
		R5年度	1,693	
		R6年度	1,798	
		R2年度	13,860	
		R3年度	13,860	
		R4年度	13,860	
		R5年度	13,860	
		R6年度	13,860	
		R2年度	24,293	
		R3年度	29,753	
		R4年度	29,446	
		R5年度	33,000	
		R6年度	39,813	
		R2年度	0	
		R3年度	12	
		R4年度	208	
		R5年度	204	
		R6年度	209	
施策(6)：生涯を通じた様々 な学習機会の創出と啓発 の推進	※地域学校協働活動事業 【令和2～6年度】 地域学校協働活動事業を円滑かつ効果的に展開するために支援組織の連携とネットワーク	R2年度	2,670	生涯学習課
		R3年度	200	
		R4年度	1,610	

方向：地域の大人の専門的な知識を活用するため、学校運営協議会等を設置することにより、人と人を繋ぐ取り組みの充実を図る。 生涯学習や地域スポーツ振興のための指導者、協力者となる団体やこれらを担うひとづくりを推進する。 地域で高齢者が集い、活躍できる場から、高度な芸術文化にふれ合い、参加できる場まで、多様な学習の場、ふれあいの場を創出する。	化を目的に地域学校協働本部「ネットワーク会議」また「学校への出前防災研修会」「コミュニティ・スクール研修会」を開催。一部事業で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止があった。 ※部活動地域移行推進事業 【令和6年度】 中学校部活動の休日の地域移行について、国や県の方針に従い、令和6年度以降を「改革推進期間」と位置付け、準備が整った部活動から移行を推進。また部活動地域移行推進協議会を開催し、必要な情報を適宜把握し、学校部活動の地域移行を推進した。	R5年度 244 R6年度 278 R6年度 5,106	
	※文化協会活動支援事業 【令和2～6年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により活動できない期間が多かった。 令和6年度 文化協会加盟団体数：43団体 会員数：420名 文化協会50周年を迎えたこともあり、同協会の活動支援を行い、幅広い世代を対象とした生涯学習振興を推進した（各種発表会・展示会・町民文化祭等）。	R2年度 0 R3年度 116 R4年度 400 R5年度 1,060 R6年度 400	中央公民館
	※各種スポーツ振興事業 【令和2～6年度】 ・スポーツ施設維持管理運営を指定管理者に委託した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業・大会の中止があった。 ・町民の健康増進、地域コミュニティの活性化及びにぎわい創出のため、白石川右岸河川敷おおがわら千本桜スポーツパーク内にパークゴルフ場を整備した。 ・大河原町体育協会及び大河原町スポーツ少年団へ事業費の補助、全国スポーツ大会等出場者へ援助金を交付した。 ・老朽化対応として総合体育館等スポーツ施設の改修・修繕を実施した。 ・おおがわら千本桜スポーツパークパークゴルフ場のグランドオープンを行うとともに、管理運営を業務委託により行った。	R2年度 881 R3年度 2,922 R4年度 194,591 R5年度 126,532 R6年度 132,317	生涯学習課 スポーツまちづくり推進課

数値目標及び重要業績評価指標（K P I）

数値目標		起業家・創業者・事業承継者の創出 7件		令和6年度末実績値	2件	商工観光課
No.	重要業績評価指標（K P I）	基準値	令和6年度実績値	目標値（令和6年度）	担当課	
1	待機児童数	24 人（H30）	0人 （令和7年4月1日現在）	0 人	子ども家庭課	
2	介護予防サポーター数	49 人（H30）	8 1 人	100 人	福祉課	
3	学校運営協議会体制の確立	—（0）	5か所	5 か所	教育総務課	
4	パークゴルフ場利用者数	—	11,843 人	10,000 人	スポーツまちづくり推進課	